

まちひとしごと

Vol. 65

倶知安観光協会公式アンバサダー
NORTH FIELD CREATE えのもと 榎本 ゆうた 勇太 さん

新たな視点から 町の魅力を発信する



今年の5月に倶知安観光協会公式アンバサダーに任命されたノースフィールドクリエイトは、主に釣り具の販売や釣りの魅力を伝える動画制作を行っている。

メンバーの榎本勇太さんは、幼少期からの釣り好きが高じて始めたルアーやロッドといった釣り具のデザインや設計だけでなく、今では動画撮影や編集までも行っている。動画編集と出会ったのは、以前勤めていた釣り具関連の職場だった。

「自分が製作している釣り具の良さは自分が一番よく伝えられる

だろう」と思い、商品紹介の動画撮影に挑戦しました。動画サイトへの投稿も始め、現在は収益化ができるようになりました。」

榎本さんは釣りの魅力についてこう話す。

「四季や環境によって釣れる魚が毎日変化することや、五感を使って自然を感じられることなど、人それぞれが釣りに対して違う魅力を感じています。自分は作り手として、製作した道具を使って魚を釣ってもらったときに喜びとやりがいを感じます。」

さまざまな活動に取り組み、作り手ならではの視点で釣りを行うことが、製作活動にも大きく生きている。

「ルアーやロッドを製作する際には、自分が釣りをしている感じた違和感を大切にしています。色々な場所で使用することでちよつとした水の流れの変化などに気づくことができ、道具の改善へと繋がります。」

動画編集を行う際には、記録としての映像ではなく、視聴者の記憶に残ることを意識していると語る榎本さん。

「動画については、釣り人の視点で撮影するのではなく、釣り人

を客観的に撮影しており、その場の風景だけでなく『空気感』が感じられる作品を心掛けています。今は動画をきっかけに興味をもってもらうチャンスが多い時代だからこそ、カッコいいブランドだなと思ってもらえるような動画を作ることや、『釣り』という視点から観光地としての町の魅力を発信し、『釣り』を通してこの町に行ってみたいと興味を持ってほしいです。」

倶知安観光協会公式アンバサダーとして、倶知安町の魅力発信を『釣り』という新たな視点で挑戦するノースフィールドクリエイト。そのなかでも榎本さんの作るシネマティックな作品は、視聴者の感情を揺さぶり、町の魅力を発信していく観光プロモーションには欠かせないものになるだろう。

※まちひとしごとは不定期連載です